

令和4年1月吉日

新年あいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年は、一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の流行により、政府から4度目の緊急事態宣言が発出されるなど、感染への不安と不自由な生活を余儀なくされました。

当本部におきましても、昇段審査会や技術講習会の中止、規模を縮小した無観客での大会開催などにより、皆様やご家族、関係者に残念な思いをさせてしまったことに心を痛めておりました。

一方、明るい話題としましては、8月の東京オリンピックにおいて、空手が正式競技種目に初採用され、日本人選手が金メダルを獲得することができました。

さらに、感染対策の徹底とワクチン接種が進んだことにより、感染状況の落ち着きも見られはじめ、2年ぶりに全国大会や関東地区大会が開催され、本県の代表選手が活躍できたことを嬉しく思っております。

新たな変異株の発生など、まだまだ予断を許さない状況ですが、当本部では、政府や自治体、日本空手協会総本部のガイドラインなどに従いながら空手道の更なる振興に取り組んでいく所存でございます。

皆様におかれましても、日々の稽古を通じて、技に磨きをかけるのはもちろんのこと、他人を思いやる心、礼儀の大切さなど、心技体の鍛錬を重ねて頂きたいと切に願っております。

最後に、空手道を志す皆様にとって本年が良い年となることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

押忍

日本空手協会茨城県本部
会長 中嶋 正史